

# 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：スローウォーク

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・利用者様が効果的に使えるように、時間等を分けて使用している。	94	6	0	0	・今後も、効果的なスペースの使用ができるように検討をしていきたい。
	2 職員の適切な配置	・利用者様に対しベストな状態で支援できるように留意している。	91	6	0	3	・今後も、利用者様に対しベストな状態で支援できるようにしていきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・文字表示や段差を少なくする工夫をしている。	89	11	0	0	・文字表示だけでなく絵なども使い、利用者様にとって使いやすい施設を目指したい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・毎日、全職員で掃除をして清潔で整った施設にするように心がけている。	94	6	0	0	・朝の掃除等を続け、より清潔な生活空間確保に努めたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・職員は口頭での参画をしている。	/				・職員の業務改善に対してのPDCAサイクルをより明確な形ですすめたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・保護者や運営会社の意見を積極的に取り入れている。	/				・今後も保護者や運営会社、適切な外部評価ができる皆さんの意見を積極的に取り入りたい。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・二週間に一度は、全職員で研修ができるようにしている。	/				・年度当初に年間研修計画を立てたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・アセスメントが正しくできるように全職員に対して研修をおこなっている。個別の支援計画を更新する際は、支援会議を持つようにしている。	100	0	0	0	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの実態に応じて、グループ活動を入れるようにしている。	100	0	0	0	・子どもの実態に応じて、より適切なグループ活動を入れるようにしたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・総合的に利用者様がサポートできるように、常に、振り返り、よりよい項目設定や記録に心がけている。	97	0	0	3	・利用者様がわかりやすく、指導員が記録しやすい項目の設定を検討している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	86	9	0	6	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	86	9	0	6	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	/				・子ども自身に分かりやすく説明し、希望する支援を取り入れていきたい。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	/				・今後、このようなケースがあれば、適切に対応していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備						・今後、このようなケースがあれば、適切に対応していきたい。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・関係機関と連絡を密にして、円滑に移行出来るようにしている。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・必要があれば、円滑な移行が出来るように情報提供等をする準備がある。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・必要であれば、こども支援センター、病院等の専門機関と連携し、よりよい支援に役立てている。研修は、ズーム研修を積極的に受けている。					・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現時点では、実施していない。	21	9	15	55	・保護者の思いや本人の希望を聞きながら、保育所との連携を考えたい。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・事業所として地域住民を招く行事は計画していない。					・地域住民に説明する機会があれば、積極的に出向いて説明していきたい。
保護者へ	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・支援の内容については随時、利用者負担については入所時に説明している。	100	0	0	0	・必要に応じて、適切な説明をしていきたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・入所時、更新時には、個別支援計画を提示し説明し、保護者の意見を聞いている。	100	0	0	0	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・保護者の相談に対しては、保護者の子どもへの関わり方について話をしている。	57	23	2	18	・ペアレント・トレーニング等、保護者の対応力が向上出来る支援を考えていきたい。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・保護者来所時やメールでお話を聞き、共通理解出来るようにしている。	100	0	0	0	・現在の取り組みを継続発展していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容		
の 説明責 ・ 連携支 援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者来所時やメールでお話を聞き、助言出来るようにしている。		63	20	6	11	・個別支援計画の更新時には、必ず面談をしたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・コロナ下でもあるので、実施していない。		14	11	20	55	・今後、保護者の思いを聞きながら、連携支援ができるように考えたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・なるべく迅速に対応出来るようにしている。		66	3	0	31	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・研修等で意思の疎通や情報伝達について学んだり、職員間で情報交換をしている。		97	0	0	3	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・メールにて「スローウォーク通信」(12月の段階で51号)を発行している。そこには、保護者への発信として、予定、選択学習の提示等をしている。		86	9	0	5	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報を守られるように、文書管理をしっかりとしている。職員も知り得た情報を守るようにしている。		94	0	0	6	・現在の取り組みを継続発展していきたい。
非常時等の 対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・マニュアルについては策定しているものと、策定途中のものがある。策定しているマニュアルは職員に周知している。		63	6	0	31	・マニュアルは早期に策定し、保護者にも周知をしていきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・令和3年6月に地震想定避難訓練、令和3年9月に洪水想定避難訓練を職員で実施し、豊岡市にも報告済みである。		20	9	0	71	・今後、避難訓練の様子を保護者にも伝えていきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・職員研修で学んでいる。		/				・現在の取り組みを継続発展していきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・研修を行い、適切に対応出来るようにしている。						・今後も、研修を行い、適切に対応出来るようにしたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・現時点では発生していない。		・今後、事案があれば、適切に対応したい。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・職員会議でヒヤリハットについて検討している。		・今後も、定期的にヒヤリハットについて、職員会などの機会に検討したい。